

【仙台総局】 仙台市青葉区上杉1-6-10
EARTH BLUE 仙台勾当台 ☎022-221-9211
【東京本社】 港区東新橋2-6-6 汐留AZビル ☎03-5733-2740
【千葉総局】 千葉市中央区新田町5-10 わかちく千葉ビル ☎043-203-8171
【水戸総局】 水戸市南町2-5-24 櫻沢本店ビル ☎029-227-4551
【宇都宮総局】 宇都宮市本町9-12 亀田ビル ☎028-622-8111

ホームページアドレス <http://www.jcpress.co.jp>
メールアドレス jcp-sendai@jcpress.co.jp

宮城版
全県版
©日本建設新聞社(令和7年)
(昭和41年11月16日 第3種郵便物認可)
日刊(日、月、祝翌日休刊)

日刊建設新

The Nikkan Kensetsu Shin

宮城労働局

宮城労働局は12日、今年9月までに厚生労働省の「くるみん、くるぼし」の認定を受けた県内8社に認定通知書を交付した。建設関連は、丸か建設(加美町)をプラチナくるみん、建設技術センタ(仙台市若林区)をえるぼし3段階目、熱海建設(仙台市青葉区)と三協技術(同)をえるぼし2段階目に認定。同局で合同交付式を行い、松瀬貴裕局長が各社の代表者に通知書を手渡した。

厚生労働省は次世代育成支援対策推進法に基づいた行動計画を達成した企業で、従業員の子育て支援に積極的に取り組む企業をくるみん、女性活躍推進法に基づき、行動計画を策定・届け出、実施状況が優良である企業をえるぼしに認定している。

くるみんは段階的に、トラインくるみん、くるみん、プラチナくるみんがある。最高位のプラチナくるみんは、トラインくるみん・くるみん認定を受けて、相当程度両立支援の制度導入や利用が進み、高水



渡辺代表の勤入れ

機械設備工事を加納工業所(仙台市宮城野区)に委託している。建設工事や製品製造設備などに係る総事業費は

県 水道ビジョン改定案

県は水道ビジョンの改定のほど中間案をまとめた。50〜100年後を視野にして計画期間に2026〜35年度の10年間を設

プラチナくるみん、くるみん認定を受けた企業から

えるぼし認定を受けた企業から



くるみん、えるぼし認定

女性活躍8社に通知書

標準な取り組みを行う企業に対して認定する。

一方のえるぼしも段階的に認定要件となっている。要件を2つまで満たすと1段階目、プラチナくるみんの丸か建設

力を発揮しやすい職場環境で、3〜4つだと2段階目、全て満たすと3段階目となる。これよ

建設技術センターは「社内での活躍する女性を見て、男性と賃金格差があることに気づき、これをなくそうと動いた」、熱海建設は「この数年で技術職を希望する若い女性が入社

建設技術センターは「社内での活躍する女性を見て、男性と賃金格差があることに気づき、これをなくそうと動いた」、熱海建設は「この数年で技術職を希望する若い女性が入社

松瀬局長は認定に至るまでの各社の背景に思いを巡らせた上で謝辞を述べ「皆さんの取り組みは労働参加の窓口を広げている。多くの事業者の手本になってほしい。最高位のプラチナも目指してもらえたら」と呼び掛けていた。

このほか障害者福祉事業の代表者は「全員に活躍してもらわないと私たちの業界は成り立たない。会社運営の過程が認定になった、運輸業の代表者は「男性社員も育休をとれる雰囲気になった。誰もが働きやすいことを発信していきたい」などと話していた。

し、意見をとり入れている。次はプラチナくるみんを目標とする。三協技術は「採用した女性たちが現場作業を厭わない人だった。若い女性の流出が課題になる中、女性が活躍できる会社づくりを進め、地域社会の発展に貢献したい」と述べた。

県は水道ビジョン改定案を踏まえて、6〜35年度の10年間を視野に、2026〜35年度の10年間を設